

Department of
Landscape
Architecture Science

造園科学科

身のまわりの自然や
生活環境を支える仕組みは
どうなっているの？

Department of
Regional Regeneration Science

地域創成科学科

東京農業大学

地域環境科学部

Faculty of Regional Environment Science

生産環境工学科

Department of Bioproduction and
Environment Engineering

森林総合科学科

Department of Forest Science



地域を支え、環境を守る、実学の学び

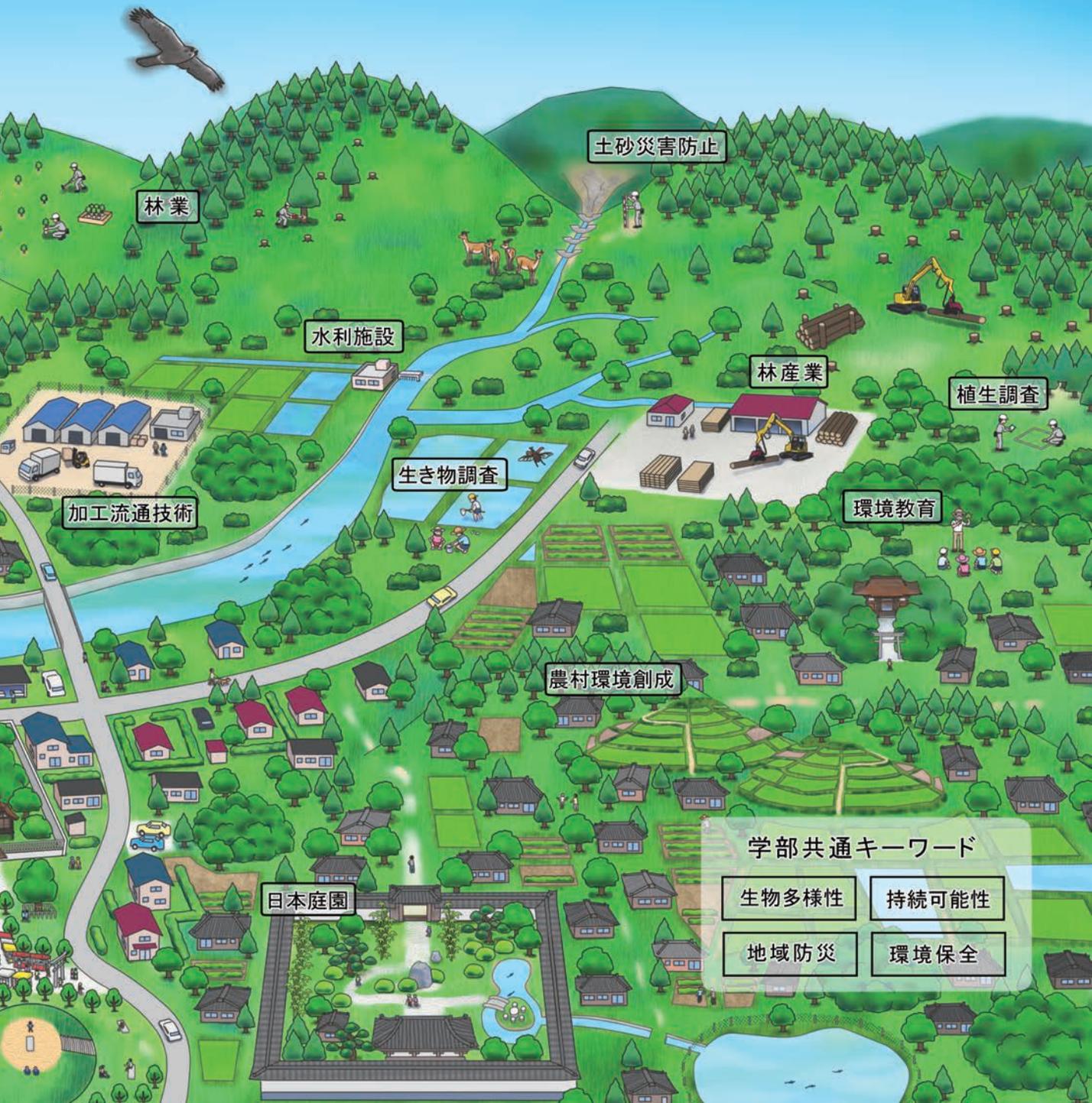


地域創成科学科

地域が抱える問題を環境や生態系、暮らしを支える基盤整備、地域防災、住民の暮らしや環境教育といった専門分野から総合的に捉え、地域社会の持続的な発展を実現するためのシステムを学ぶ学科です。実践型教育を通じて、循環型社会の再構築を担う人材を育てます。

造園科学科

都市の公園や緑地から農山村や自然地域までを対象とし、人と自然が共生した空間や環境を実現する学科です。植物に代表される自然要素を主に用い、新たな環境創成を行える技術者を計画・デザイン・施工・維持管理・マネジメントの分野から育てます。



学部共通キーワード

- 生物多様性
- 持続可能性
- 地域防災
- 環境保全

生産環境工学科

土・水・施設・機械に関する技術を応用し、地域から地球規模まで考慮した環境保全に資する新たな農業生産技術とエコ・テクノロジーの開発を行うとともに、環境・資源・エネルギーに配慮した計画・設計・施工・管理を行える倫理観を持った技術者を養成します。

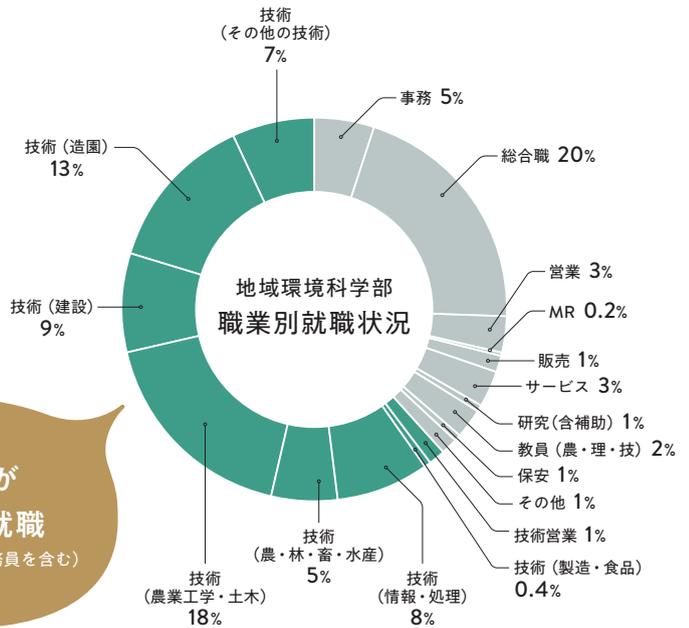
森林総合科学科

森林のしくみと機能を科学的に解き明かし、森林の保全、育成、森林から得られる多様な産物の利用、森林と人間生活との関係などを教育・研究の対象とする文理融合型の学科です。段階的かつ実践的に指導し、人と森林との共生社会を実現する人材を育てます。

学びを活かして 地域で活躍

地域環境科学部の卒業生は、
専門知識を活かした仕事や、
地域に貢献する多彩な職業に就いて
活躍しています。

61%が
技術系で就職
(2024年度、技術系公務員を含む)



技術系就職に強い学部・就職先に多様性がある学部

近年の就職先にみる職業の多様性の一例をみてみよう

(技術系)

- 総合建設業 (大成建設、前田建設工業、奥村組、鴻池組など)
- 研究・技術開発 (農業・食品産業技術総合研究機構、土木研究所 つくば中央研究所・寒地土木研究所など)
- 土木環境のための建設コンサルタント (日本工営、新日本コンサルタントなど)
- まちづくり・環境コンサルタント (オオバ、緑生研究所、いであ、URリンケージなど)
- 空間情報コンサルタント (アジア航測、パスコ、国際航業など)
- 都市のランドスケープデザイン (日本設計、長谷工コーポレーションなど)
- 公園緑地の調査・研究 ((一財)公園財団、都市緑化機構、(公財)埼玉県公園緑地協会など)
- 農業機械やストリートファニチャーなどの専門職 (スガノ農機、ヤマハ発動機、ヤンマーアグリジャパン、コトブキなど)
- 森林の保全管理 (東京水道、森林組合、地域環境計画など)
- 木材・木質材料の製造と販売 (越井木材工業、銘建工業、ジャパン建材など)
- 都市緑地の施工・維持管理 (日比谷アメニス、グリーンアンドアーツなど)
- 道路・水道などの施工・維持管理 (水資源機構、NEXCO東日本、NIPPO、前田道路など)



大学での学びを活かし、謙虚であることを忘れずに日々チャレンジしています。

地域創成学科OB

松本第佑

国立研究開発法人土木研究所
寒地土木研究所 寒地保全技術研究グループ

寒地土木研究所寒地道路保全チームで研究員として勤務しています。雪寒冷地を対象とした道路舗装の維持管理手法や理論的設計方法など、現場での調査をはじめ国土の発展に寄与する研究に日々取り組んでいます。



生産環境工学科OB

喜多村耕祐

新潟県南魚沼地域振興局 農林振興部 農村整備課

新潟県南魚沼地域振興局農林振興部で農業土木職員として勤務しています。田んぼや畑を農作業のしやすい形に大きさを変える工事や、漏水や老朽化している用排水路を新設する工事の監督員をしています。

学んだ水理学や測量などの基礎的な知識が業務の協議や打ち合わせに役に立ち、仕事がスムーズにできました。



森林総合科学科OG

中村菜摘子

国府台女子学院 中学部

中学1年生の担任をしていて、理科を教えています。今年は校庭に生えている植物をスケッチする授業を行い、私も生徒と一緒にスケッチしました。授業だけでなく、部活動や生徒との会話、一緒に掃除をすることを通して、毎日が楽しく発見の連続です。

大学で新しいことにチャレンジする中で、教員という職業に出会いました。母校で恩師とともに教育に当たっています。

(国家公務員)

- 農林水産省 (本省、関東農政局、林野庁、水産庁など)
- 国土交通省 (本省、関東地方整備局、国土地理院、気象庁など)
- 環境省 (本省)
- 経済産業省 (本省)
- 厚生労働省 (本省)
- 財務省 (東京国税局)
- 警察庁 (警視庁)

卒業生の約 **20%** が公務員に採用されています。国や地方の技術系公務員 (土木・農業土木・林業・造園) として、学んだ知識を仕事に活かせます!

(地方公務員)

- 都道府県庁 (東京都、神奈川県、茨城県、埼玉県、千葉県、栃木県、富山県、石川県、山形県など)
- 政令指定都市 (札幌市、横浜市、川崎市、相模原市、浜松市、神戸市、福井市、岡山市、熊本市など)
- 市区町村役所 (東京都特別区、鎌倉市、藤沢市、厚木市、前橋市、川場村など)

(教員)

- 中学校・高等学校の理科、技術、農業の教員 (千葉県立朝日農業高等学校、神奈川県立吉田島高等学校、長野県立須坂創成高等学校など)

(地域づくり・その他)

- ソフトウェア&サービス (NECソリューションイノベータなど)
- 花の卸売り、冠婚葬祭のフラワーアレンジメント (フラワーオークションジャパン、ユー花園など)
- アウトドア用品の開発 (モンベル、パタゴニア、オンヨネなど)
- ホテル観光業 (星野リゾート、(一財)休暇村協会など)
- 営農指導 (農業協同組合 (JA) など)
- 食品会社 (中村屋、三菱食品、ポッカサッポロフード&ビバレッジなど)
- 電鉄・航空事業 (小田急電鉄、JR東日本、JR東海、ANAあきんど、羽田空港サービスなど)
- 金融 (横浜銀行、紀陽銀行など)

造園科学科OB

坂口翔

合同会社HOC

ランドスケープデザインの設計事務所勤務しています。今は長野県小諸で行っている広場づくりの仕事を担当しています。「人が豊かになれる緑の環境づくり」を目指し、まちの人たちの「こんなことやりたい!」の想いを叶えるため、市民参加のワークショップを重ねながら、デザインを進めています。

大学で習得した植物の専門知識は、緑の環境づくりに欠かせません。



地域から国際社会への貢献

国内外の様々な地域で各学科が取り組んでいる研究を紹介します。

森林総合科学科

Department of Forest Science

奥多摩演習林は 最先端の研究フィールド

奥多摩演習林では様々な研究を行っています。例えば、間伐などの森林保育をおこないつつ、自然散布の樹木を誘導し、針葉樹と広葉樹との混交林をつくる研究をしています(1)。また、林地へのダメージが小さく、安全性の高い森林作業システムの開発もしています。2は、ワイヤーロープに丸太を吊り下げて運ぶ架線集材で使う搬器の性能評価をしている様子です。また、ツキノワグマの行動生態調査を実施しています(3)。研究成果を地域のクマの保護管理に活かすために、東京都多摩環境事務所や奥多摩町役場との協働も進めています。



1 林床植生の調査



2 搬器の性能評価試験



3 センサーカメラで撮影されたクマ



1



2



3

1 個性でつながる楽しい農園 2 農福連携を進めるための農地排水改良の調査 3 誰もが簡単に施工できるバリアフリー施工の研究

地域創成科学科

Department of
Regional Regeneration Science

農業でつながる人と人 ～一人ひとりの個性を生かし 支えあう地域づくり～

地域創成科学科では、生物多様性に配慮し安全・安心な地域社会の持続的発展を目指した教育・研究を行っています。その中で、誰もが農業に親しむことができる地域づくりを目指した研究*を実践しています。例えば、バリアフリーの農地環境整備の技術開発、農作物の生産量を高めるための土壌環境調査、環境教育プログラムへの展開、そして農業の担い手不足解消と人々の生きがい創出に向けた農業と福祉のマッチング構築に取り組んでいます。

*本プロジェクトは科学研究費助成事業に採択されています。



生産環境工学科

Department of Bioproduction and Environment Engineering

ジブチ共和国における沙漠緑化

本学科では、海外のフィールドを拠点とした研究も行っています。なかでも東アフリカのジブチ共和国における沙漠緑化の研究は、30年にわたって続いています。2018年には、ジブチでの研究が地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム*に採択され、水資源の広域のかつ立体的な分布と循環経路を解明し、持続可能な水資源の利用・管理手法を確立するための様々な活動を行ってます。このほか、本学科が関係する海外の研究は15か国以上にわたっており、留学生との交流も盛んです。

*関連リンク

https://www.jst.go.jp/global/kadai/h3002_djibouti.html



1 実証試験圃場に気象観測装置を設置 2 沙漠緑化前 3 沙漠緑化後



1 模型を作成してデザインを立体的に検証 2 世田谷区民とワークショップを行う学生達
3 自然の機能を活かして都市に森を創る

造園科学科

Department of Landscape Architecture Science

グリーンインフラを活かしたまちづくり

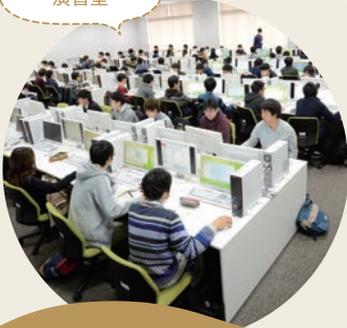
庭、空地、公園緑地、街路、都市から国土スケールまで、自然の多様な機能を活かしたグリーンインフラの研究や実践に取り組んでいます。例えば、世田谷区都市デザイン課と協働した屋外公共空間の利活用調査や具体的な公園・広場の再整備提案、みどりのまちづくりの検討を行います。現場でのフィールド調査、調査に基づく計画やデザインの提案、そしてマネジメントの実践を、実際にまちの中で学ぶことで、学生たちはスキルを習得します。



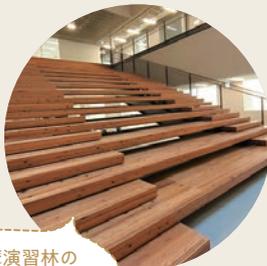
実験用水路



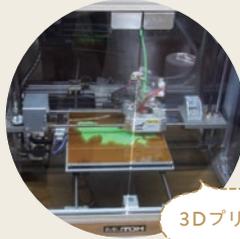
コンピューター演習室



奥多摩演習林の
スギ材を使った大階段
(サイエンスポート)



3Dプリンター



製図室
(デザイン教育の第一歩)



「学び」を支える 施設紹介

多種多彩な実験・研究施設、実験圃場や
演習林を備えており、
充実した学びへと導きます。

サイエンスポート内の
実験室



木工室
(木材の加工実験)

材料強度の
測定機械



学内圃場
(樹木の生育実験)



奥多摩演習林の
研修センター



奥多摩演習林
(演習林実習)

化学実験室
(木材成分の分析)



農業機械の実習



\\ さらに詳しい情報はHPにアクセス! //

地域環境科学部

森林総合科学科

生産環境工学科

造園科学科

地域創成科学科

